

三宅島災害記録

年度	災害状況・予知連発表等		村		都(知事)		災対本部		支援本部		各局		国(政府災対)	
	日にち	行動等	日にち	行動等	日にち	行動等	日にち	行動等	日にち	行動等	日にち	行動等	日にち	行動等
12	6/26 19:30	臨時火山情報 「18:30頃から三宅島で火山性地震増加、今後の火山活動に注意。」												
	6/26 19:33	緊急火山情報 「三宅島で噴火の恐れ、厳重に警戒。」	6/26 20:45	三宅村災害対策本部設置										
			6/26 21:10	阿古地区に避難勧告										
			6/26 21:39	坪田地区に避難勧告										
					6/27 04:15	知事、陸上自衛隊に災害派遣要請								
					6/27 05:30	生活支援物資等を三宅島避難所等へ供給・輸送								
			6/27 09:20	伊ヶ谷地区に避難勧告										
					6/29 13:15	知事、三宅島到着(三宅村長と協議)								
			6/29 16:00	坪田地区の避難勧告解除										
			6/29 16:45	阿古地区の避難勧告解除										
	6/29 18:00	火山噴火予知連絡会(伊豆部会コメント) 「火山活動低下、今後、陸域及び海面に影響を及ぼす噴火の可能性ほとんどない。」	6/29 19:45	伊ヶ谷地区の避難勧告解除										
			6/30 18:15	三宅村災害対策本部廃止										
					7/ 2 09:32	知事、陸上自衛隊に災害派遣部隊撤収を要請								
	7/ 5	火山観測情報発表 「山頂部では噴気の増加や場合によっては火山灰の放出の可能性がある。」												
	7/ 8	臨時火山情報 「18:43頃に噴火、山頂から火山灰の噴出を確認、噴煙の高さは火口から800m、今後の火山活動に注意。」												
	7/10	火山噴火予知連絡会会長見コメント 「山頂カルデラ内に直径1,000m、深さ約200mの陥没孔を確認、今後も噴煙や噴石を伴う山頂カルデラの陥没現象が引き続き発生する可能性あり。山頂付近では引き続き注意が必要。」												
	7/14	火山観測情報、臨時火山情報、火山噴火予知連絡会(伊豆部会)検討結果(要旨) 「04:14頃、雄山噴火。神着で降灰。18時頃から再噴火。夕方の噴火は山頂火口地下蒸気爆発、火山灰や噴石を放出したものと考えられる。山頂付近では噴石等に引き続き注意が必要。」	7/14 09:00	三宅村災害対策本部設置										
		噴火継続 噴煙の高さは1,000m	7/14 16:40	神着地区の一部(島下、下馬野尾)に避難勧告										
	7/15													
	7/18	火山噴火予知連絡会(伊豆部会)検討結果(要旨) 「7/8、14～15日に山頂で噴火、主に北東部に降灰。山頂部の陥没火口は9日の深さ200mから14日には300～400mになり、体積は約1億数千万m ³ と推定。引き続き収縮傾向にあり、マグマは下がっている。しかし今後も水蒸気爆発が発生する可能性がある。山頂付近では引き続き注意が必要。また、雨による泥流にも注意が必要。」	7/17 09:00	神着地区の避難勧告を解除										
	7/21	地震調査委員会(科学技術庁) 「今回の三宅島から新島・神津島付近にかけての地震活動及び地核変動は従来になく活発で、引き続きM6.0以上の発生も否定できず、さらに1～2週間、注意が必要。新島・神津島周辺の地震は神津島東方海域の地下で岩脈状のマグマ活動は、直ちに噴火等に繋がらないと考えられるが監視が必要。」												
	7/26	降雨により、御子敷地区から三七山展望台付近まで等4ヶ所で泥流発生												
	7/26	火山観測情報 「三宅島山頂付近の地震は、26日09～13時頃まで一時増加。山頂の陥没火口は直径約1.2km、深さ約450m、火口縁の崩落・火口拡大の可能性あり。」	7/26 08:30	島下、下馬野尾、沖ヶ平の一部に避難勧告										
			7/26 15:30	三池地区(御子敷の4世帯、9人を除く)に避難勧告										
			7/27 11:00	沖ヶ平の一部に避難勧告を追加										
			7/28 14:00	沖ヶ平の一部の避難勧告を解除										
	7/30	震度5強以上の地震が三宅島近海で頻発(3回)												
	8/10	火山観測情報 「06:59頃噴火、山頂からの火山灰の噴出を確認。白色噴煙の高さは約8,000m、うち黒色噴煙は3,000m。火山灰の噴出は少量、北東に流れる。」	8/ 2 16:00	避難勧告を全解除										
			8/10 08:43	神着間川橋から坪田三宅島空港入口までの間に避難勧告										
			8/10 16:00	下馬野尾・御子敷を除き、避難勧告を解除										
			8/12 08:00	門の原地区から三宅島空港入口までの間に避難勧告										
	8/13	火山観測情報 「17:30頃小規模な噴火、噴煙の高さは雲のため不明。阿古地区で降灰を確認。」												
	8/14	火山観測情報 「13:20頃小規模な噴火。」	8/14 09:50	御子敷地区を除き、避難勧告を解除										
			8/14 16:00	避難勧告を全解除										
	8/15	火山観測情報 「14日15時以降も断続的に噴煙を上げ、23:00頃には収まる。本日も04:30頃から断続的に噴煙を上げ、09:55には、火口上3,000m、噴煙の色は灰白色から白色で、東に流れる。坪田地区で降灰を確認。」												
	8/18 17:02頃	雄山噴火 これまでの最大規模の噴火。白色噴煙の高さは約14,000mで、うち黒灰色噴煙は8,000m以上。全島に降灰。												

三宅島災害記録

年度	日にち	災害状況・予知発表表等	村		都(知事)		災対本部		支援本部		各局		国(政府災対)		
			日にち	行動等	日にち	行動等	日にち	行動等	日にち	行動等	日にち	行動等	日にち	行動等	
	8/26	山頂カルデラ内の直径1,500m、深さ約450mの陥没孔を確認。									8/24	在宅要介護高齢者等の内地移送(高齢者施策推進室)	8/20	陸上自衛隊の現地自主派遣	
	8/29 04:35	雄山噴火 白色噴煙の高さは約8,000mで、うち灰白色噴煙は4,000m以上。低温の火砕流発生。	8/29	三宅村現地対策本部設置	8/29 22:00	知事、海上自衛隊に災害派遣要請	8/29	東京都災害対策本部設置			8/26	噴石避難用シェルター設置(PCボックスカルパト)(建設局)	8/26	陸上自衛隊の現地自主派遣部隊の撤収	
	8/29										8/29	特別養護施設入所者及び在宅要介護高齢者等の内地移送(高齢者施策推進室)	8/29	政府非常災害対策本部設置	
	8/31	火山噴火予知連絡会(伊豆部会)検討結果(要旨) 「噴火が断続的に発生。当面、8月18日と29日と同程度か、これをやや上回る規模の噴火が繰り返される可能性あり。火砕流、噴石、泥流、火山ガスに対する警戒が必要。」									8/29	児童・生徒、秋川高校へ避難(教育庁)			
	9/1	山頂カルデラ内の直径1,500m、深さ約450mの陥没孔を確認。	9/1	下田市長に対して災害対策基本法第67条第1項に基づく応援要請	9/1 11:45	東京都災害対策本部会議 ・知事が避難指示を呼びかけ	9/1 17:00	現地災害対策本部会議			8/29	一般避難者の都共済組合生浜運動場施設への避難(共済組合)			
	9/2 07:00	全島民避難指示(三宅村)	9/2 07:00	全島民避難指示 「防災関係者等を除き、9/2~4の3日間の間に全ての島民に対して避難指示」							8/30	特別養護施設入所者の内地移送(高齢者施策推進室)			
	9/2	気象庁「避難指針」発表 「噴石・火砕流の恐れを察知した場合は、堅固な建物又は鉄製コンテナ等のシェルター等へ避難等。」	9/3	漁業関係者の下田市に所在する北区臨海保養施設への避難(下田市)			9/3	1都9県相互協定県知事に対して、災害対策基本法第74条第1項に基づく応援要請			8/30	避難者用都営住宅等の提供決定(住宅局)			
											8/31	生活必需品の給与基準・提供決定(福祉局)			
											8/31	三宅村営牧場預託牛等家畜の緊急輸送決定(労働経済局)			
	9/3							9/3	1都9県相互協定県知事に対して、災害対策基本法第72条第1項に基づく支援要請			9/1	火砕流対策用シェルター設置(建設局)		
												9/1	特別養護施設入所者の内地移送(高齢者施策推進室)		
												9/2	国立オリンピック記念青少年総合センター内に東京都三宅村避難者一時受入本部開設(福祉局)		
								9/4	三宅島ホテルシブによる島外避難態勢確保			9/3	一般避難者の国立オリンピック記念青少年総合センターへの避難①(福祉局)		
								9/4 16:45	洋上で現地災害対策本部会議			9/4	一般避難者の国立オリンピック記念青少年総合センターへの避難②(福祉局)		
												9/5	一般避難者の国立オリンピック記念青少年総合センターへの避難③(福祉局)		
												9/6	三宅支庁臨時連絡所、第一本庁舎41階南側に開設(三宅支庁)		
												9/7	医薬品等の調達・搬入(衛生局)		
	9/9	気象庁地震火山部・三宅島測候所発表 「断続的に噴火継続。噴煙は1,000mから1,800m、島の北部を中心に降灰、引き続き火砕流に警戒し、噴石、泥流、火山ガスに注意。」										9/9	三宅港への簡易シャワーの設置(港湾局)		
												9/9	三宅港への海水淡水化装置の設置(水道局)		
												9/9	国立オリンピック記念青少年総合センター等からの都営住宅等への移動完了(住宅局)		
												9/12	三宅港への洗濯機、乾燥機の設置(港湾局)		
												9/13	火山ガス濃度測定班の派遣(環境局)		
												9/13	ガスマスクの提供・搬入(東京消防庁)		
												9/13	火山ガス対応用の防護・刺激臭防止マスクの搬入(総務局)		
	9/14	国土庁・環境庁・気象庁同時発表 「SO2放出量9/1が約3,000t/日、9/9~11が約5,000~10,000t/日、9/13~14が約5,000t/日」										9/14	現地医療班の交替要員派遣(衛生局)	9/14	内閣総理大臣、副長官、神崎公明党代表の現地視察
	9/16	台風17号接近に伴う気象庁予報部発表 「台風17号は、17日昼過ぎ伊豆諸島の東海上に達し17日夕方まで大雨になる見込み(降雨70~100mm、波高4~6m)」	9/16	台風17号に伴い防災関係者等一時全員に避難命令											
	9/21	気象庁地震火山部・三宅島測候所発表 「山頂からの火山ガスの放出量が多い状態。青白色の火山ガスが火口から南西側に流れているのが確認。」	9/19	立川防災センター内に三宅村立川事務所を開設											
	9/25	気象庁地震火山部・三宅島測候所発表 「山頂からの火山ガスの放出量が多い状態。青白色の火山ガスが東側山麓まで達しているのが確認。三宅港沖合800mでSO2濃度3PPmを観測。」													
	10/6	火山噴火予知連絡会(伊豆部会)検討結果(要旨) 「ガスの放出が続けば、爆発的噴火や火砕流の可能性は低い。当面は現在のような多量の火山ガスを出す活動が続くと考えられる。火山ガスに対する警戒が必要。」													
	10/11	地震調査研究推進本部地震調査委員会による地震活動の評価 「周辺のGPS観測の結果では、局地的な地殻変動を含めてほぼ停止。地震活動及び地殻活動ともに、活動が低調になったことから、6月末から始まった一連の地震活動はほぼ収まったと考えられる。」	10/10	三宅村義援金配分委員会を開催し、第1回目の配分方法を発表	10/20	東京都義援金募集配分委員会を開催、第1回目の配分計画を発表									
	11/1	火山噴火予知連絡会統一見解の発表(要旨) 「噴煙に火山灰の混入が顕著に認められていたが、10月以降は認められなくなる。1日当たり約2~5万t程度のSO2の放出があり、今なお放出量が高い。顕著な地震活動や地殻変動を伴わないマグマからの脱ガスが続いており、火山の地下の状態がほぼ安定していると考えられる。」	11/5	三宅村長及び三宅村議会議員による三宅島現地実査											
												9/26	三宅島火山活動により被害を受けた世帯に対する大学準備金の貸付及び青英資金の特例貸付の実施を決定(生活文化局)		
												10/2	第1回三宅島火山活動検討委員会開催		
												10/6	ホテルシブによる対応解除		
												10/7	現地災害対策本部を、神津島村営ロッジ内に開設		
												10/7	船舶を利用した渡島による島内作業開始		
												11/17	第2回三宅島火山活動検討委員会開催		
												11/21	1都9県及び七都県市相互協定締結県・市に対し、支援延長依頼		

三宅島災害記録

年度	日にち	災害状況・予知発表等	村		都(知事)		災対本部		支援本部		各局		国(政府災対)	
			日にち	行動等	日にち	行動等	日にち	行動等	日にち	行動等	日にち	行動等	日にち	行動等
			11/25 11/26 11/29	三宅村住民説明会(区部)開催 三宅村住民説明会(多摩地区)開催 三宅村住民に対して2万円の商品券を配布	11/30	東京都義援金募集配分委員会を開催、第2回目の配分計画を発表	11/21	区市町村に対し、支援延長依頼			11/29	被災者生活再建支援法の適用について公示(福祉局) ・政令第1条第二号に規定する自然災害の適用、及び政令第2条第一号に規定する全壊世帯又はこれに準ずる世帯の適用 対象戸数:11戸	11/30	政府非常災害対策本部第2回会議開催 ・原国土庁長官は、避難は長期化する可能性が大変高いとの認識を示し、併せて、避難している約2,000世帯に対して、政令第2条第二号の適用を認める旨決定し、支給手続の準備を早急に実施するよう示唆
			12/3	第1回三宅島島民ふれあい集会			12/8	三宅島島内作業等にかかる今後の進め方の方針決定 三宅島周辺海域の操業エリア変更			12/1	長期避難に伴う被災者生活再建支援法の適用について公示(福祉局) ・政令第2条第二号に規定する長期避難(6か月程度以上一防災局長通知)に係る世帯の適用 対象戸数:1,970戸 都独自の支援策の決定(福祉局) ・同被災者生活再建支援法の適用とならない世帯について、同法に準拠した適用を実施 対象戸数:約420戸	12/8	三宅島島内作業等にかかる今後の進め方の方針決定
13	2/5	火山噴火予知連絡会統一見解の発表(要旨) 「10月以降、顕著な噴火は発生しておらず、火口近傍を除き、降灰もほとんど認められなくなった。12月下旬には、夜間、火映現象も観測された。SO2放出量は、9月以降、1日当たり約2~5万t程度の高い値を保持し、低下を示す兆候は観測されていない。多量の火山ガスを放出する活動が今後も続くと考えられる。」 ◎ 会長の記者会見発言: 「まだ1割程度しか噴出していないと思われる」	4/15	第2回三宅島島民ふれあい集会	1/12	東京都義援金募集配分委員会を開催、第3回目の配分計画を発表	1/5	三宅島災害対策作業活動の再開			3/29	「三宅島噴火災害動物救援センター」開設(衛生局)		
			4/18	三宅村義援金配分委員会を開催し、第3回目の配分方法を発表			2/20	第3回三宅島火山活動検討委員会開催			4/16	三宅島自然環境調査結果の発表(環境局)		
			5/9	生活実態調査の集計結果の発表			2/21	1都9県及び七都府市相互協定締結 県・市に対し、支援延長依頼			4/18	立根地区の仮橋の完成により島内全周の通行確保(建設局)		
	5/28	火山噴火予知連絡会統一見解の発表(要旨) 「火山ガスの放出活動は低下の兆しが現れている。大規模な噴火の可能性は低いと考えられる。」	5/12~26	三宅村住民説明会の開催(計4回)			4/20	三宅島災害対策技術会議設置			5/10	三宅島「げんき農場」の開園(産業労働局)		
			6/7	伊豆諸島災害対策支援事業「よみがえれ、伊豆諸島」の発表(東京都市長会、特別区長会及び東京都町村長会)			5/4	三宅島島内における夜間滞在の試行開始			6/7	政府非常災害対策本部第3回会議開催		
			7/1	夜間滞在本格化に伴う医療チームの配置			5/7	第1回三宅島災害対策技術会議開催			6/29	三宅島島内作業等にかかる今後の進め方の方針決定 ・クリーンハウスを整備する等、工事関係者を含めた夜間滞在を開始を予定	6/29	三宅島島内作業等にかかる今後の進め方の方針決定 ・クリーンハウスを整備する等、工事関係者を含めた夜間滞在を開始を予定
			7/11~13	泥流等被災家屋対象者の一時帰宅の実施 ・第1隊で38戸、第2隊で34戸がはまゆう丸で一時帰宅			7/9	第1回三宅島災害対策技術会議開催			7/19	三宅島動物現況調査結果の発表(環境局)	7/26	天皇皇后両陛下、新島・神津島・三宅島を幸啓
			9/17~10/2	全世帯を対象とした一時帰宅実施			8/9	第2回三宅島災害対策技術会議開催						
			9/30	第3回三宅島島民ふれあい集会			8/29	第4回三宅島火山活動検討委員会開催						
	10/2	火山噴火予知連絡会統一見解の発表(要旨) 「火山ガスの放出量は、今後とも緩やかに低下していくと予想される。」			10/3 17:57	知事、海上自衛隊に災害派遣部隊撤収を要請	9/21	東京都現地災害対策本部を、神津島村営ロッジから三宅支庁内に移設。神津島に東京都現地災害対策本部神津島連絡所を設置			10/5	三宅島火山活動により被害を受けた世帯に対する大学準備金の貸付及び育英資金の特例貸付の実施を決定(生活文化局)	11/1	三宅島の島内作業におけるカテゴリー区分の見直し
					10/31	東京都義援金募集配分委員会を開催、第4回目の配分計画を発表	10/31	東京都「三宅村生活支援」連絡会議(生活支援PT)設置						
			11/13	三宅島内の大工、板金等の技術者による「三宅島職工組合」を結成(都、三宅村の意向による)			11/1	三宅島の島内作業におけるカテゴリー区分の見直し						
			11/14	三宅村義援金配分委員会を開催し、第4回義援金配分の決定(三宅村)			11/8	第1回三宅村生活支援PT開催						
			12/28	第2回生活実態調査の集計結果の発表			11/28	第3回三宅島災害対策技術会議開催			12/14	三宅島で初めての大型砂防ダム完成(支庁・建設局)		
							12/17	第2回三宅村生活支援PT開催						

三宅島災害記録

年度	日にち	災害状況・予知連発表等	村		都(知事)		災対本部		支援本部		各局		国(政府災対)				
			日にち	行動等	日にち	行動等	日にち	行動等	日にち	行動等	日にち	行動等	日にち	行動等			
14	2/ 1	火山噴火予知連絡会統一見解の発表(要旨) 「火山活動は全体としては低下途上にあるが、今後少量の降灰をもたらす小規模な噴火は発生する可能性がある。火山ガスの放出量は、長期的には減少傾向にあるが、現在も高い値を保持。」	1/15	三宅村「ゆめ農園」開園			1/10	第3回三宅村生活支援PT開催									
			1/29	第1回三宅村復興計画策定委員会開催			2/ 4	第4回三宅村生活支援PT開催			2/ 1~25	三宅島避難島民訪問調査実施(災対部・支庁・福祉局・村)					
			2/ 1~25	三宅島避難島民訪問調査実施													
			2/21	第2回三宅村復興計画策定委員会開催													
			3/11~24	第3回一時帰宅の実施													
			3/14	三宅島島民対象、火山活動に関する説明会開催													
			3/15	第3回三宅村復興計画策定委員会開催					3/28	第4回三宅島災害対策技術会議開催					3/18	天皇皇后両陛下、三宅島「げんき農場」行幸啓	
									3/28	第5回三宅村生活支援PT開催							
			4/ 1	日帰り帰宅事業開始													
			4/ 5	第4回三宅村復興計画策定委員会開催					4/10	第6回三宅村生活支援PT開催			3/31	「三宅島噴火災害動物救援センター」閉鎖(衛生局)			
	5/23	火山噴火予知連絡会統一見解の発表(要旨) 「SO2の二酸化硫黄の放出量は、長期的には減少傾向。噴煙の高さや勢いも長期的に下降傾向。島の収縮を示していた地殻変動は鈍化し、この1年間の地殻変動の傾向に大きな変化はない。」	4/21	第4回三宅島島民ふれあい集会			4/14	雄山火口への火山ガス採取用パイプ敷設事業の実施									
			5/17	第5回三宅村復興計画策定委員会開催			5/22	第7回三宅村生活支援PT開催									
			5/27	三宅村の復興に伴う基本的な構想策定			5/27	平成14年度第1回三宅島災害対策技術会議開催									
			6/ 7	第6回三宅村復興計画策定委員会開催			6/14	第5回三宅島火山活動検討委員会開催									
			6/24	三宅島島民対象、火山活動に関する説明会開催			6/25	三宅島緊急対策工事報告会									
			7/ 5	第7回三宅村復興計画策定委員会開催			6/30	神津島連絡所廃止									
			8/ 2	第8回三宅村復興計画策定委員会開催													
			8/ 4~ 6	児童・生徒の一時帰宅の実施													
			9/ 4	第9回三宅村復興計画策定委員会開催			9/ 9	第8回三宅村生活支援PT開催					8/14	三宅村民に対する生活福祉資金(離職者支援資金)の貸付の特例取扱開始(福祉局)			
							9/11	雄山火口への火山ガス採取用パイプ敷設作業の実施									
							9/18	平成14年度第2回三宅島災害対策技術会議開催									
							9/30	三宅島火山ガスに関する検討会設置									
							9/30	第1回三宅島火山ガスに関する検討会開催									
10/15	火山噴火予知連絡会統一見解の発表(要旨) 「火山ガスは白色の噴煙として連続的に放出されているが、その高さや勢いは長期的には低下傾向。SO2放出量も、最近数ヶ月では1日あたり4千~1万数千t程度となり、平成12年10月頃の最盛期と比べると1/6程度。」	10/ 4	第10回三宅村復興計画策定委員会開催														
		10/ 4	復興計画中間まとめ発表														
		10/21	4月から行ってきた日帰り帰宅事業を第3期終了をもって中止														
		10/22	村負担による全世帯対象一時帰宅を全12回の予定で実施開始			10/28	第2回三宅島火山ガスに関する検討会開催										
		11/ 4	第5回三宅島島民ふれあい集会			11/15	第9回三宅村生活支援PT開催					11/ 5	しらみ沢、鉄砲沢夕景沢の2沢で、「災害関連緊急砂防事業」採択(建設局)				
		11/23	三宅島島民対象、火山活動に関する説明会														
		11/28	第11回三宅村復興計画策定委員会開催														
		12/ 4	三宅村復興基本計画を策定委員会が村へ答申			12/20	平成14年度第3回三宅島災害対策技術会議開催							12/ 6	国土交通省関東運輸局が、東海汽船からの申請により、東京~八丈島航路の三宅島への寄港を認可		
						12/24	第3回三宅島火山ガスに関する検討会開催										
						12/24	「三宅島火山ガスに関する検討会」中間報告発表								12/26	「三宅島噴火災害に関する事務連絡会議」開催	
15	1/21	火山噴火予知連絡会統一見解の発表(要旨) 「SO2放出量は、最近数ヶ月では1日あたり3千~1万t程度。山麓でのSO2濃度(1時間値)も最盛期は10PPmを超過値が観測されていたが、最近数ヶ月は最大で数PPm。火山ガスの放出量は大局的には低下を続けていくものと考えられる。」	1/15	三宅島寄港便日帰り帰宅事業を3月末まで22回の予定で開始											1/ 6	東海汽船の定期船が、東京~八丈島航路の三宅島への寄港開始	
			1/27	生活保護の弾力的運用の実現する内容として「三宅村災害保護特別事業」の実施を決定													
			2/ 5	平成15年第1回臨時議会にて「三宅村災害保護特別事業交付金交付条例」可決													
			2/17	三宅村災害保護特別事業申請受付開始													
			2/17	「生活相談窓口」を都庁第一本庁舎内に設置			2/18	第4回三宅島火山ガスに関する検討会開催					2/17	三宅村災害保護特別事業申請受付開始(村・福祉局)			
			2/22	三宅島島民対象、火山活動に関する説明会			3/18	第5回三宅島火山ガスに関する検討会開催					2/17	「生活相談窓口」を都庁第一本庁舎内に設置(支庁・村)			
							3/24	第6回三宅島火山ガスに関する検討									
																	3/ 7

三宅島災害記録

年度	日にち	災害状況・予知発表等	村		都(知事)		災対本部		支援本部		各局		国(政府災対)	
			日にち	行動等	日にち	行動等	日にち	行動等	日にち	行動等	日にち	行動等	日にち	行動等
5/13	火山噴火予知連絡会統一見解の発表(要旨) 「火山活動は全体としてゆっくりと低下してきているが、最近半年程度は低下の割合が緩慢。火山ガス放出量は長期的には減少。SO2放出量はゆっくりと減少し、最近数ヶ月では概ね横ばい傾向。火山灰の放出を伴う小規模な噴火は平成14年11月24日以来観測されていない。」	3/28	三宅村火山ガス安全対策検討委員会設置	3/24 3/27 3/28 4/18 7/11 7/24 7/9 7/24 8/4~5 8/7 8/22	会開催 「三宅島火山ガスに関する検討会」 最終報告発表 第10回三宅村生活支援PT開催 平成14年度第4回三宅島災害対策技術会議開催	3/28	三宅島火山活動により被害を受けた中小企業者及び農林漁業者に対する金融支援の延長を決定(産業労働局)	3/28	三宅島火山活動により被害を受けた中小企業者及び農林漁業者に対する金融支援の延長を決定(産業労働局)	4/18	三宅島の大雨注意報・警報の基準改正に伴う島内作業基準を改正(都災対・建設局)	4/30	天皇皇后両陛下下、三宅村「ゆめ農園」行幸啓	国(政府災対) る政令」が閣議決定
		4/14	第1回三宅村火山ガス安全対策検討委員会開催											
		4/16	三宅島寄港便日帰り帰宅事業開始											
		4/18	三宅島寄港便滞在型帰宅事業開始											
		4/28	第2回三宅村火山ガス安全対策検討委員会開催											
		5/18	第6回三宅島島民ふれあい集会「東京愛ランドフェア」が東京都庁都民広場で開催され、三宅村も参加。歌手の五木ひろしさんによるチャリティーコンサートが開かれ、三宅島復興応援歌を披露											
		6/10	第3回三宅村火山ガス安全対策検討委員会開催											
		7/9	第4回三宅村火山ガス安全対策検討委員会開催											
		7/24	三宅村在住の児童・生徒と保護者を対象とした一時帰宅を実施。											
		8/4~5	第5回三宅村火山ガス安全対策検討委員会開催											
8/7	「三宅村火山ガス安全対策検討委員会」報告書作成													
8/22														
10/26	火山噴火予知連絡会統一見解の発表(要旨) 「火山活動は、全体としてゆっくりと低下してきているが、最近1年程度は低下の割合が緩慢になっている。」	11/24	第7回三宅島島民ふれあい集会	10/16	三宅島帰島プログラム準備検討会設置	10/16 10/16 12/16 12/18 12/25	平成15年度第1回三宅島災害対策技術会議開催	10/16 10/16 12/16 12/18 12/25	三宅島帰島プログラム準備検討会開催	三宅島内の旅館・民宿を防災関係者が宿泊施設とし活用し、12/20より運用開始 第2回三宅島帰島プログラム準備検討会開催 「三宅島帰島プログラム準備検討会」中間報告発表	8/20 9/17 9/26 10/6 11/4	三宅村民に対する生活福祉資金特例措置の貸付期間の延長等を決定(福祉局) 都道の災害復旧工事による本橋の坪田「カニガ沢橋」完成(建設局) 三宅島火山活動により被害を受けた中小企業者及び農林漁業者に対する金融支援の延長を決定(産業労働局) 三宅島火山活動により被害を受けた世帯に対する大学等準備金の貸付及び東京都育英資金の特例貸付の実施を決定(生活文化局) 都道の災害復旧工事による本橋の「空栗橋」「芦穴橋」完成(建設局)		
16	1/27 6/30 火山噴火予知連絡会統一見解の発表(要旨) 「全体として最近1年半以上大きな変化はなく、現在程度の火山ガスの放出は当分継続する可能性があると考えられるが、現段階で、火山活動が活発化する兆候は見られない。ただしこれまで同様、小規模な火山灰の噴出などの可能性はある。」	7/1	第1回三宅村安全確保対策専門家会議開催	1/23 2/3 3/30 4/7 4/28 5/14 5/28 6/22 7/1 7/9 7/14 7/15 7/20 7/27 8/20~26	7/20	三宅島災害対策技術会議緑化関係調整部会において「三宅島緑化ガイドライン」策定 第6回三宅島火山活動検討委員会開催 「三宅島帰島プログラム準備検討会」最終報告発表 三宅島災害対策技術会議緑化関係調整部会において「三宅島緑化マニュアル(第一版)」策定 第7回火山活動検討委員会(その1)開催(現地調査) 第7回火山活動検討委員会(その2)開催(現地調査) 平成16年度第1回三宅島災害対策技術会議開催 三宅島災害に関する専門家からの意見聴取を実施 第8回三宅島火山活動検討委員会開催「一部の地域を除き、帰島を検討することも可能と思われる。」などの検討結果を公表	3/31 3/31 5/27	都道の災害復旧工事による最後の本橋「立根橋」完成(建設局) 「三宅島災害復興連絡会議」を設置(行政部)	7/21 7/26 7/27 8/4 8/20~26	「東京都三宅島帰島支援対策本部」(事務局:総務局行政部)を設置、その下部組織である「東京都三宅島帰島支援連絡会議」(関係各局の企画担当課長等で構成)を開催(第1回) 第2回「東京都三宅島帰島支援連絡会議」開催 三宅支庁内に「東京都三宅島帰島支援現地対策本部」(事務局:三宅支庁)を設置 第1回「東京都三宅島帰島支援対策本部会議」を開催、三宅島帰島支援に向けて各局が連携・協力して取り組むことを確認 関係各省に対し、帰島に向けた財政				
		7/9	第2回三宅村安全確保対策専門家会議開催											
		7/14	帰島に関する三宅村民アンケート結果公表											
		7/15	三宅村長が知事に会談を申し											
		7/20	知事に対する三宅村長からの要請 三宅島の帰島問題について「村民の意向、専門家の意見、安全対策などを総合的に勘案し、『災害対策基本法第60条第4項』に基づき、平成17年2月に避難指示を解除し、村民の帰島を実施することを決断したいと思うので、ご理解とご支援をお願いしたい。」旨を要請											
		7/27	第3回三宅村安全確保対策専門家会議開催											
		8/20~26	関係各省に対し、帰島に向けた財政											

三宅島災害記録

年度	日にち	災害状況・予知連発表等	村		都(知事)		災対本部		支援本部		各局		国(政府災対)					
			日にち	行動等	日にち	行動等	日にち	行動等	日にち	行動等	日にち	行動等	日にち	行動等				
	10/26	火山噴火予知連絡会報告の発表(要旨) 「火山活動は、全体として最近約2年間大きな変化はなく、現段階で火山活動が活発化する傾向は見られない。ただしこれまで同様、小規模な火山灰の噴出などの可能性あり。」	8/23	支援などの要望活動 第4回三宅村安全確保対策専門家会議開催			8/25	平成16年度第2回三宅島災害対策技術会議開催		支援などの要望活動	9/17	都営住宅等の取扱について、原則、避難指示解除後3ヶ月間で無償一時使用を終了し、特別な事情がある場合には、さらに3ヶ月を限度として延長することを決定(都市整備局)						
			9/14	第5回三宅村安全確保対策専門家会議開催						9/17	避難指示解除に向け、平成16年度中に実施すべき村営住宅や医療体制の整備、学校の再開、産業基盤の整備など総事業費150億円の三宅島緊急支援事業の実施を決定	9/24	三宅島火山活動により被害を受けた中小企業者及び農林漁業者に対する金融支援の延長を決定(産業労働局)					
			11/30 07:46	小噴火。火山灰を含む灰色の噴煙が火口縁上の300mまで上がり、東に流れた。三宅島測候所が行った現地調査では、火口の東約4km付近(空港付近)で微量の降灰。噴火に伴い低周波地震と空振が観測された。その他の活動に変化はない。	11/18	三宅村民に対する被災者生活再建支援金及び災害援護資金の準備申請の受付等の開始を決定			10/29	三宅島における避難指示解除までの安全確保対策について決定			10/1	三宅島火山活動により被害を受けた進学希望者の世帯に対し、東京都が設立する公立大学法人が設置する大学等の入学考査料及び入学金の減免措置の実施を決定(大学管理本部)	10/5	三宅島火山活動により被害を受けた世帯に対する大学等入学準備金の貸付及び東京都育英資金の特例貸付の実施を決定(生活文化局)		
			12/2 16:45	小噴火。灰色の噴煙が火口縁上の高さ600mまで上がり、南西に流れた。噴火に伴い低周波地震が発生し、神着・坪田で震度1を観測。空振も観測された。					12/17	平成16年度三宅島災害対策技術会議関係部長会開催			11/12	住宅の新設、修繕等に要する経費の一部(上限150万円)を支援する都独自の支援制度の創設を決定。都議会第四回定例会に条例案を提出し、12/16に可決・成立(総務局・福祉保健局)	11/18	三宅村民に対する被災者生活再建支援金及び災害援護資金の準備申請の受付等の開始を決定(福祉保健局・村)		
			12/27	火山噴火予知連絡会拡大幹事会の見解(要旨) 「2004(平成16)年11月30日から12月9日にかけて4回の小規模な噴火。山麓で少量の降灰があった。この頃から山頂直下で発生する低周波地震がやや多くなっている。SO2放出量は、最近3ヶ月程度の間、1日あたり2千〜5千程度とやや少なくなっている。放熱量は2002年夏以降、ほとんど変化はない。小規模な噴火が時々発生しているが、火山活動は、全体として大きな変化はない。火山ガスの放出量は若干低下傾向。火山ガスの放出は当分継続。」									12/17	三宅村民に対する生活福祉資金及び離職者支援資金特例措置の据置期間の延長を決定(福祉保健局)	12/17	平成16年度三宅島災害対策技術会議関係部長会開催(都災対・支庁)		
17	1/5	三宅村長が平成17年2月1日をもって避難指示を解除する旨を発表した。																
	2/1 2/2	避難指示解除 火山噴火予知連絡会報告の発表(要旨) 「三宅島では、平成16年11月末から4回の小噴火が発生し、空振を伴う低周波地震も時折発生。地殻変動観測の傾向には変化は見られず、従来からの浅部での収縮、深部での膨張が続いている。SO2放出量は大きな変化は認められない。」					1/27	平成16年度第3回「三宅島災害対策技術会議」を開催し、島民の雇用促進、建設副産物の有効利用について確認	1/27	第2回「東京都三宅島島民支援対策本部会議」を開催	1/17	三宅島火山活動により被害を受けた中小企業者のうち、福島して事業を再開する方を対象に金融支援拡充を決定(産業労働局)						
							3/31	東京都災害対策本部廃止										

平成12年(2000年) 三宅島噴火災害誌 資料編 1(CD-ROM1収録)

第1章 噴火災害

- 資料 1 平成12年版 管内概要 東京都三宅支庁
- 資料 2 平成18年版 管内概要 東京都三宅支庁
- 資料 3 三宅島地上気象観測月・年・3か月別年平均
- 資料 4 三宅島風配図(年平均)
- 資料 5 火山噴火予知連絡会コメント
- 資料 6 三宅島SO₂放出量計測図
- 資料 7 伊豆諸島における過去の主な噴火活動
- 資料 8 東京都災害対策本部条例
- 資料 9 三宅島災害対策技術会議資料
- 資料 10 三宅島火山活動検討委員会設置要綱

第2章 緊急火山情報から全島避難

- 資料 11 三宅島の災害復旧(平成15年10月)
- 資料 12 三宅島災害派遣資料(第1師団)
- 資料 13 災害活動記録(第三管区海上保安本部)
- 資料 14 東京消防庁航空隊の活動状況
- 資料 15 都税の申告・納付期限延長等のお知らせ
- 資料 16 都税減免等のお知らせ

第3章 災害復旧

- 資料 17 非常時の安全確保のための行動基準(カテゴリー区分)
- 資料 18 クリーンハウス一覧
- 資料 19 クリーンハウス整備状況

第4章 帰島に向けて

- 資料 20 三宅島火山ガスに関する検討会報告書(概要)
- 資料 21 三宅島火山ガスに関する検討会最終報告
- 資料 22 三宅島帰島プログラム準備検討会最終報告(概要)
- 資料 23 三宅島帰島プログラム準備検討会最終報告
- 資料 24 帰島に関する意向調査結果
- 資料 25 三宅村安全確保対策専門家会議要綱
- 資料 26 三宅村安全確保対策専門家会議の見解
- 資料 27 三宅村民の皆様へ
- 資料 28 帰島に関する基本方針概要
- 資料 29 帰島に関する基本方針
- 資料 30 東京都三宅島帰島支援対策本部設置要綱
- 資料 31 国への緊急要望
- 資料 32 リスクコミュニケーション(ガイド養成講座資料)
- 資料 33 三宅島民帰島前健康診断に関する検討会報告書
- 資料 34 三宅村帰島計画
- 資料 35 帰島・生活再開の手引き(三宅村村民用帰島マニュアル)
- 資料 36 三宅村住民説明会資料
- 資料 37 三宅村火山ガスに対する安全確保に関する条例
- 資料 38 三宅村防災のしおり
- 資料 39 三宅島泥流防災マップ
- 資料 40 脱硫装置設置旅館・民宿施設一覧
- 資料 41 村営住宅一覧
- 資料 42 東京都三宅島災害被災者帰島生活再建支援条例
- 資料 43 東京都三宅島災害被災者帰島生活再建支援金のご案内
- 資料 44 避難指示解除の予定について

第5章 帰島、そして島の再生に向けて

- 資料 45 観光パンフレット
- 資料 46 三宅島緑化ガイドライン
- 資料 47 三宅島緑化マニュアル

第6章～第9章

- 資料 なし

平成12年(2000年) 三宅島噴火災害誌 資料編 2(CD-ROM2収録)

■三宅島災害情報

- ・平成12年6月27日から同30日まで(第1報～第38報)
- ・平成12年8月29日から平成17年3月31日まで(第0報～第474報)

■主要災害関係法令

- ・災害対策基本法
- ・災害対策基本法施行令
- ・災害救助法
- ・災害救助法施行令
- ・激甚災害特別財政援助法
- ・激甚災害特別財政援助法施行令
- ・激甚指定及び適用措置政令
- ・活動火山対策特別措置法
- ・被災者生活再建支援法
- ・被災者生活再建支援法施行令
- ・地方税法(抄)

■東京都の支援に係る資料

■災害状況(動画)

- ・平成12年7月27日の泥流の状況
- ・平成12年8月10日の噴火の状況
- ・平成12年8月18日の噴火の状況
- ・平成12年8月26日の雄山の火口付近の状況

平成12年(2000年) 三宅島噴火災害誌 写真提供者一覧

(順不同)

- ・ 警視庁
- ・ 東京消防庁
- ・ 陸上自衛隊
- ・ 海上自衛隊
- ・ 航空自衛隊
- ・ 第三管区海上保安本部
- ・ 気象庁
- ・ 三宅村
- ・ 東京電力株式会社
- ・ 東日本電信電話株式会社
- ・ 株式会社NTTドコモ
- ・ 三宅島災害・東京ボランティア支援センター
- ・ 社会福祉法人三宅島あじさいの会
- ・ 竹入啓司 (御蔵島村在住)
- ・ 中田節也 (東京大学地震研究所)
- ・ 嶋野岳人 (東京大学地震研究所)

平成 12 年（2000 年）三宅島噴火災害誌

印刷物規格表第 2 類

印刷番号（18） 66

平成 19 年 3 月発行

編集発行 東京都総務局総合防災部
〒163-8001 東京都新宿区西新宿 2-8-1
電 話 03（5388）2485
FAX 03（5388）1270

印 刷 株式会社 成光社
〒103-0001 東京都中央区日本橋小伝馬町 17-17
峰沢ビル 5F
電 話 03（3808）0703
FAX 03（5643）7167